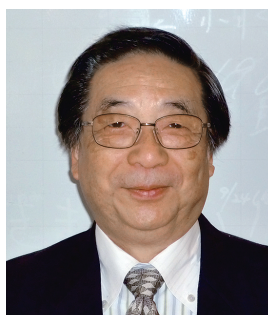


発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



## 第10回学術大会を終えて

大会長 益子 務

2010年9月24日、25日、26日の三日にわたり、神戸国際会議場とポートピアホテルにおいて第10回日本音楽療法学会学術大会が開催されました。全国から会員、一般の方および学生を含め3日間で延べ約8,100名の参加者があり、過去最大規模の大会となりました。

今回の学術大会には、ヨーロッパから4人のパネラーを迎えて、「ヨーロッパの音楽療法に学ぶもの」と題して国際シンポジウムを行いました。また、井戸敏三兵庫県知事、「音楽療法を支援する会」の鳩山幸剛氏をゲストに、当学会から日野原重明理事長、湯川れい子理事と私とで特別座談会を開きました。また、前記のシンポジウムとともに基調講演をお願いした、国立ハンブルグ音楽演劇大学音楽療法学部学部長であるデッカー・フォイクト教授が、音楽療法の今後の方向を示唆する講演を行いました。国際シンポジウムでは、異なった言語・文化を背景としても音楽療法士のアイデンティティを明確に保つこと、音楽療法士の教育、訓練の枠組みのレベルに関しての国際的な合意が、公的な資格を確立するための重要なポイントになることが指摘されました。

講習会は初日の24日に10時30分から7つのコースに分けた講義を18時10分まで行い、28の講座で研修をしました。ヨーロッパからの講師もそれぞれの分野の講義を行い、貴重な講習会となりました。

25日は「音楽」で縦に縫い合わされた一日でもありました。開会宣言の前に、松元愛香さんによる、イザイ作曲の無伴奏ヴァイオリン・ソナタの素晴らしい演奏があり、当学会の音楽の質の高さが印象付けられました。

デッカー＝フォイクト教授による基調講演は、現在からみた近未来の音楽療法と社会の姿を哲学的に考え、国際シンポジウムでは23のヨーロッパの国をまとめているヨーロッパ音楽療法連盟会長のドゥ・バック教授の、異なった文化と言語の上に成り立つ音楽療法士の教育とアイデンティティ確立に関する報告を学び、大滝昌之氏は福祉国家と知られるスウェーデンの音楽療法の現状を、リプスキー教授からはチェコ共和国における国家資格化の現状の報告を受けて、我が国の国家資格化における問題点を各シンポジストが明確化したことが有意義であったと思います。

今回の国際シンポジウムでは通訳の専門家への委嘱だけで

はなく、実行委員を中心とした近畿地区の会員が通信、翻訳、通訳、学会当日の案内などで大きな力を発揮しました。

特別座談会では震災後の復興と心のケアを経験した兵庫県の取り組みを通して、人生の危機的場面における「音楽」の重要性を再認識しました。その結果生まれた「地方自治体としての音楽療法士養成」に取り組む兵庫県の現状や、高齢化社会となる国家としての音楽療法の必要性を分析し、今後の指針とすることができました。

学術大会のバックボーンとなる研究発表は25日、26日の両日、課題研究の発表では60分枠、30分枠がそれぞれ設けられ研究内容をより詳細に報告できるだけでなく、質問時間も十分討議出来るよう配慮しました。自由研究の口頭発表は20分枠で行われました。また発表時間を指定したポスター発表でも多くの異なった研究対象の発表が行われました。

今回の学術大会の特色として、国際的な交流、特にヨーロッパの音楽療法関係者との情報交換のみならず、療法士の根幹的な存在意義に関する討議がおこなわれ、日本からの情報発信も出来たことなどでしょう。また、研究発表における学術的レベルの向上、学術大会への参加者の増加、開催地の自治体の支援と一般市民の積極的な学術大会への参加は画期的な企画であったと考えます。

交流会においては学会員で編成された「ファンファーレ隊」が雰囲気盛り上げました。大会長個人としては、人間の尊厳と心の自由を扱った「地下鉄道」が上演できたことは大変幸せでありました。

最後になりましたが、今大会の開催に際しまして近畿支部の会員の方を中心に多くの方々にご支援をいただきましたことに厚くお礼を申し上げますとともに、次回の富山大会とその前に韓国での世界大会で、多くの皆様にお会いできることを期待しています。



## 第11回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 海老原 直邦

皆様ご承知のように、日本音楽療法学会はバイオミュージック学会と臨床音楽療法協会の合併により、2001年4月に発足しました。来年4月には、満10歳の誕生日を迎えることになります。その記念すべき年に、第11回の学術大会を信越・北陸支部がお世話し、富山市で開催することとなりました。現在、約20人の実行委員の協力のもと、鋭意準備を進めているところです。大会の日程・行事等は、下記のとおり計画しています。

### ■開催日程：

2011年9月9日（金） 必修講習会・学術大会講習会  
9月10日（土） 学術大会第1日目・交流会（夜）  
9月11日（日） 学術大会第2日目

■会場：富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）・  
富山県民会館・富山国際会議場

### ■大会テーマ：音楽療法の可能性と未来

～「こころ」「からだ」「社会」の視点から～

学術大会第1日目の開会式直後に、日野原重明理事長による100歳記念の基調講演を開催しますが、これは富山県と共催の市民講座として行う予定になっています。理事長講演の後には、心理学と音楽療法の関わりを主題とした大会長講演を予定、また、学術大会第2日目には、米国コロラド州立大学のマイケル・H・タウト教授に「神経学的音楽療法（NMT）」をテーマとした特別講演をお願いしてあります。

本学会のホームページによれば、音楽療法とは「音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の軽減

回復、機能の維持改善、生活の質の向上、問題となる行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること」と定義されています。第11回学術大会では、ここに定義された音楽療法の原点に立ち返ってメインテーマを設定しました。

参加者の皆様には、音楽が人間に対してもつ多面的かつ複雑な作用と音楽療法の豊かな可能性について、様々な視点から考える機会を提供したいと思います。さらに、従来の療法や技法的枠組みに必ずしもとらわれないで、まだ発見されていないような音楽療法の技法や適応分野など、未来へ向けた発展の可能性についても、参加者みんながアイデアを出し合い、夢を語り合う機会にしたいと考えています。

そのためにも、講習会や研究発表はもちろん、シンポジウムやワークショップなどのセッションに積極的なご参加をお願いしたいと思います。富山大会では祝祭的な華やかさよりもむしろ学術大会としてのクォリティの高さを目指して、精一杯の準備をして参りますので、どうか多くの会員の皆様にご参加下さいますよう、よろしく願い申し上げます。

富山市へのアクセスは、東京から空路で1時間、大阪、名古屋、東京から、JR電車で3時間～3時間半程度。高速バスの便もあります。札幌からは空路で直行便があり、九州からは空路にて東京経由でお出でになる方法も便利です。宿泊施設等については、今後の案内でお知らせしますが、富山市では同じ時期に他の学会大会等も予定されているようですので、早めのご予約をお勧めいたします。富山は豊かな自然に加えて、米も水もお酒も美味しく、日本海の豊富な魚も味わえます。富山大会に参加すれば、必然的に！心身ともにリフレッシュすること請け合いです。

## ■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 加藤 美知子

2009年度末現在、本学会が認定した音楽療法士の数は1,871名となり、まもなく2,000名を越す勢いです。しかしながら、職業としての音楽療法士の仕事はなかなか進んでいないのが現状ではないでしょうか。ここで、私たちが「今」なすべきことを考える時、次の2つがあるように思われます。

1つは、「音楽」というユニークな媒体を用いる「音楽療法」の現場の獲得です。一方で、これまでのような施設・学校・病院といった場から、地域に向けて実践の場が開かれていく時代の流れが生まれてきました。そこで、今回の講習会では、日本障害者相談支援専門員協会副代表の福岡寿（ひさし）氏をお招きし、地域での障害福祉支援の現況および、現場において音楽療法に期待されていることについてお話していただきます。さらに、地域における特別支援教育や認知症予防事業としての音楽療法の取り組みの経緯について、水野氏、辻氏から紹介していただきます。

2つ目は、音楽療法士の質の維持・向上の問題です。スーパービジョンは初心者からベテランの音楽療法士にとって、自分の実践を振り返り、技術や知識を習得し、洞察を得ていくうえで非常に効果的な方法ですが、我が国ではまだまだ未知の領域です。そこで、通常「安全が保障された場」で行われるスーパービジョンを公開という形で行い、壇上での様々な「やりとり」を受講者自身に主体的に感じ考えていただきます。その後で、改めてスーパービジョンのポイントや重要性、特質について確認していく時間を設定いたしました。今回、勇気をもってスーパーバイザー役をお引き受け下さったお二人に心から感謝いたします。

音楽療法のすそ野を広げるために現場を開拓すると同時に、私たち自身を向上させるための新しい可能性を体験する2日間です。皆様のご参加を心からお待ちしております。

2011年	内 容	講師・司会
3月5日(土) 12:00	受付開始	
13:00~13:10	開会挨拶／ガイダンス	研修・講習委員会 委員長：加藤 美知子 学会事務局長：越智 和雄
13:15~15:15	障害福祉支援の現況と音楽療法に期待すること	福岡 寿（日本障害者相談支援専門員協会副代表、北信圏域障害者総合相談支援センター相談支援専門員）
15:30~16:15	岐阜県可児市の取り組み：市の教育委員会との連携による特別支援教育	水野 千春（NPO法人きふ音楽療法協会、NPO法人子育て支援センター童思館）
16:15~17:00	滋賀県長浜市の取り組み：認知症予防事業での音楽療法～住民主体となる音楽活動に至るまで～	辻 利美子（社会福祉法人青祥会 坂田メディケアセンター）
3月6日(日) 9:00	受付開始	
9:20~9:25	ガイダンス	
9:30~10:00	音楽療法のスーパービジョンとは	加藤 美知子（研修・講習委員会 委員長）
10:00~11:00	スーパービジョン① 高齢者リハビリテーションの音楽療法より	スーパーバイザー：大城 由起（医療法人社団白鳳会 大角医院リハビリテーション デイサービスセンター） スーパーバイザー：羽石 英里（昭和音楽大学）
11:15~12:00	スーパービジョン①のまとめ	大城 由起／羽石 英里 司会：高山 仁（たかやま音楽療法研究所）
13:00~14:00	スーパービジョン② 発達障害児領域の音楽療法より	スーパーバイザー：吉村 奈保子（特別支援学級非常勤講師、東京国際音楽療法専門学院） スーパーバイザー：本多 修（武庫川女子大学教授、学生相談センター長）
14:00~14:45	スーパービジョン②のまとめ	吉村 奈保子／本多 修 司会：高山 仁
15:00~16:40	総括：音楽療法のスーパービジョン —今後の課題と方向性について考える—	大城 由起／羽石 英里／吉村 奈保子／本多 修／加藤 美知子 司会：高山 仁
16:40~16:45	閉会挨拶	研修・講習委員会 副委員長：中山 晶世

\* 会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。詳細は、後日発送の案内をご参照ください。なお、講師の都合により変更が生じることがありますことを、ご了承ください。

## ■ 第12回日本音楽療法学会学術大会のお知らせ ■

理 事 会

2012年度に開催する標記大会につきまして、開催地および日程について検討をしてきましたが、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

なおこの決定に至る経緯につきまして、ここに簡潔にご説明をして会員の皆様のご理解を得たいと思います。

2001年4月に発足した当学会は、以後その年次大会の主催を原則全国9つの支部持ち回りとしてきました。すでに関東支部は3回、近畿支部は2回目の主催となっておりますが、来年度は信越・北陸支部の主催で第11回大会の富山県富山市での開催が決定しております。これで全9支部のうち8支部が主催となりますので、理事会として残る九州・沖縄支部へ第12回大会の主催を依頼していましたが、先般、齊藤雅九州・沖縄支部長から支部の役員会で検討の結果として、「会場の確保・事務局（運営）体制などの面から、当支部の現状としては全国大会を引き受ける状態（体制）にないので主催できない。」との回答がありました。

この回答を受けまして理事会として検討の結果、九州・沖縄地区に約500名の会員が在籍されることも鑑み、彼の地で開催することは意義のあることと判断をして、理事会として推薦の地域を選定し、現地との交渉や会場施設などの現地調査を実施しました。その結果、学校法人宮崎学園の大坪久泰理事長様および宮崎学園短期大学山下忍学長様より、当該大会の開催について全面的に協力する旨の言質をいただきました。また記憶に新しい宮崎県の「口蹄疫」災害の復興に寄与できることもこの決定要因の一つになりました。

これらのことから第12回学術大会を「特例」として学会本部が主催して、大会長に日野原重明理事長が就任され、実行委員長は人選中ですが、事務局長を越智和雄本部事務局長が兼務して、宮崎県宮崎市で開催することを理事会にて決定しました。今後この大会の内容について現地の協力を得ながら順次構築をして参ります。

以上第12回大会の開催決定について、その経緯を含めお知らせいたしますので、大会が成功しますよう会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

記

### 第12回日本音楽療法学会学術大会開催日程

開催日：2012年9月7日（金）～9月9日（日）  
開催地：宮崎県宮崎市山崎町浜山  
主会場：フェニックス・シーガイア・リゾート  
          ワールドコンベンションセンター サミット  
大会長：日野原 重明 日本音楽療法学会理事長

以 上

———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ———— ✨ ————

## ■ 国際交流委員会からのお知らせ ■

第13回世界音楽療法大会 <http://www.musictherapy2011.org/>が、2011年7月5日～9日に、韓国のソウルで開催されます（JMTAのHPもご参照ください）。今回は、アジアで開催される初めての世界大会です。既に演題を申込まれた方（9月14日締切）もいらっしやると思いますが、飛行時間も短く、滞在費も安く済ませることができます。さらに、世界の音楽療法研究と実際に、直接触れて、各自のアイデンティティを再確認するよい機会であると思います。是非多くの方が参加されることをお勧めいたします。

大会参加費は、事前申し込み（2011年5月31日締切）で、一般参加費 \$200、大会当日参加費 \$230、学生参加費 \$100。なお2010年12月31日までに申し込まれると、1回のディナー・サービスが付きます。

なお世界音楽療法大会ツアー（通訳付き・任意参加）を検討中です。詳細が決まりましたら、改めてご連絡致します。

## 北海道支部 — 近況 —

支部長 久村 正也

全国の会員の皆様、こんにちは。恒例の支部近況報告です。

当支部は創立9周年を迎えました。会員数200余のミニ集団ですが、会員の活発な活動が誇りです。

支部主催の研修会は春秋2回開催され、いずれも一般演題、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどを選択的に効率よく組み合わせ、密度の高い内容を心掛けております。特記すべきは、音楽療法士に必要な医学知識、臨床心理学を学ぶ“医学ミニレクチュア講座”を設けていることです。会員から高い評価を頂いております。

今年度は5月16日に支部総会を開催し、前年度・今年度の運営収支の報告・予算案、事業予定などの承認を頂き、新たなスタートを切りました。同日開催された第17回研修会は90人を越える参加者があり盛況の内に終了致しました。次回の研修会は10月17日(日)に開催されます。

今年は役員改選の年であり、当支部も規程に則り一連の選挙を実施致しましたが、結果は偶然にも旧役員全員の再任となりました。続投ではありますが、私ども役員は惰性に流れることなく、新たな気持ちで、一層の支部運営努力を惜しまない覚悟でありますので、今後とも北海道支部を宜しくお願い致します。

※2010年9月1日から、支部事務局が下記へ移転致しました。

新事務局：〒039-0842 北海道江別市大麻沢町20-10 日本音楽療法学会北海道支部事務局  
TEL & FAX 011-387-1300



## 東北支部 — 近況 —

事務局長 渡邊 恵里

2010年6月12日(土)～13日(日)秋田市日赤秋田看護大学において第10回支部学術大会及び講習会を開催いたしました。基調講演講師に岡崎香奈氏を、本部のご厚意により、倫理講師として村本詔司氏(神戸市外国語大学)をお迎えし、また、支部長智田邦徳氏も講師を務め大変有意義な2日間となりました。地元秋田の学会員と支部役員の連携スタッフでの開催となったことも大きな収穫でした。

今年度はさらに、2011年3月13日(日)13:00～16:15仙台市市民活動サポートセンターセミナーホールにおいて近藤里美氏(北海道医療大学看護福祉学部准教授)をお招きし「緩和ケアにおける音楽療法」(仮題)の講習会を開催致します。たくさんの方の参加をお待ちいたします。

また、総会において、2011年度は山形市において支部学術大会が開催されることが決定しております。これからも東北支部をよろしくお願い致します。

※2010年8月8日から、支部事務局が下記へ移転致しました。

新事務局：〒020-0117 岩手県盛岡市緑ヶ丘2丁目14-43 渡邊方 日本音楽療法学会東北支部事務局



## 関東支部 — 近況 —

副支部長 郡司 正樹

第9回関東支部地方会・講習会が来年2月19日(土)と20日(日)の2日にわたって群馬県前橋市の群馬県社会福祉総合センターで開催されます。初日の土曜日(19日)は、発達障害の理解、成人精神科および高齢者領域、分析的音楽療法、声の使い方に関する講座、楽器に関するワークショップ等全部で6講座を予定しています。また、翌日の大会は「地域における音楽療法」をテーマとしたシンポジウムと研究発表を開催する予定です。

現在、群馬県の支部幹事の先生方が企画を進めてくださっています。詳細については近日中に関東支部ホームページに掲載されますのでご覧ください。関東支部会員のみならず、他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

また、今年度より新たに地域に密着した支部主催の研修会、題して「地域研修会」をスタートする運びとなりました。第一回は千葉県を会員を中心とした研修会で11月28日(日)千葉市の淑徳大学をお借りして開催されます。関東支部は2,200余名の大所帯ですので今後、こういった県単位の研修会を開催し、テーマを絞った研修や事例検討等、小規模の研修会を定期的に開催してゆくつもりであります。

## 信越・北陸支部 ——— 近 況 ———

事務局長 小林 和子

2010年6月5日(土)～6日(日)長野市駅前のホテルサンルート長野を会場に第8回信越・北陸支部学術大会を開催しました。メインテーマ「生涯支援に寄り添える音楽療法をめざして」サブテーマ「クライアントのニーズへ総合的に対応できる音楽療法とは」として、日本音楽療法学会会員94名、一般市民公開講座57名という多くの皆様にご参加いただき熱い2日間の学術大会、講習会を無事終了することができました。

藤森昌幸氏によるオープニング「木遣り名人」では、諏訪御柱祭木遣りの荘厳な伝統文化を感じることができ、それに続く基調講演は、福岡寿先生(北信圏域障害者総合相談支援センター相談支援専門員・高水福祉会常務理事・日本障害者相談支援専門員協会副代表)「障害福祉支援の現況と療育(音楽療法)に期待すること」と、篠原菊紀先生(諏訪東京理科大学共通療育センター主任・東京理科大学総合研究機構併任教授)「脳を鍛えるトレーニング」の2コマで、時に笑いあり、時に真剣に療育を考え反省させられる場ありの素晴らしいご講演をいただきました。

その後の対談では、音楽療法の「これから」として松井紀和先生と西巻靖和大会長の息の合った楽しい雰囲気の中にも、会場全体でこれからの音楽療法を考える大切なお話を伺いました。

2日目の公開スーパービジョン、シンポジウムでは、それぞれにおいて、皆さんで音楽療法に対する共通の問題点と、期待を共有することが出来たと思います。

オープニングを盛り上げていただいた藤森先生、来賓の方々、講師を務めていただいた福岡先生、篠原先生、2日間ご指導いただいた松井先生、また症例の発表をされた方、査読委員を担当して下さいました方、会場を担当していただいた方、コンベンションビューロの方、本当にありがとうございます。アンケートには嬉しい感想がたくさん寄せられていました。そして参加していただいた皆様全員に、実行委員一同、心より御礼申し上げます。



## 東海支部 ——— 近 況 ———

支部長 佐治 順子

東海支部は、2010年4月より、新しい役員体制で活動を始めました。役員の平均年齢が若干若返った?こともあり、各委員会活動も順調に進められております。

第一に、第9回東海支部大会は、2010年4月11日(日)に静岡のグランシップで開催されました。基調講演には松井紀和先生、音楽療法の基礎講座には栗林文雄先生による講演を伺い、音楽療法の原点や基本に立って自分を見つめ直す必要性を学びました。その後15名の会員による研究発表が行われ、活発な意見交換の末、盛会(予想を上回る213名もの参加)のうちに終了致しました。

第二に、今期(2010年4月～2012年3月任期)は役員数が減ったこともあり、少し職務を整理し、スリム化致しました。特に、支部情報を正確に、かつ公平に伝達できるよう、全ての連絡は、三役が共有する支部事務局を通して行う「一本化体制」を明確にしました。

その他、年2回発行の支部ニュースの内、前半の第17号支部ニュースの配信を終え、支部HPも随時リニューアルに努めています。また現在は、第10回支部大会(2011年1月23日、名古屋芸術大学で開催)の発表抄録受付と、支部大会時に開催される研修会の企画準備に追われています。支部会員以外の参加も歓迎しますので、どうぞご参加下さい。



## 近畿支部 ——— 近 況 ———

支部四役会

近畿支部では、本学会の評議員が近畿支部役員となり支部運営を担っています。従いまして2009年11月の評議員選挙によって選ばれた20名の役員の互選により正副支部長を選出しました。2010年4月より鈴木暁子支部長、大前哲彦副支部長、池田智子事務局長、山田由紀子事務局次長が支部四役となり、役員・委員総勢56名で新しい支部体制を築き活発に活動しています。近畿支部事務局所在地には変更がなく以下の通りです。

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内  
FAX専用 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

第9回近畿学術大会は、2011年3月12日・13日に京都文教大学・短期大学にて開催されることとなり、大会実行委員会と支部教育研修委員会により着々と準備が進められています。詳細は近畿支部ホームページ(<http://www.jmtak.com/>)に掲載いたしますのでご覧下さい。

また、2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は今年も12月発行予定です。原著論文や事例研究のほかに近畿学術大会における講習内容、また近畿支部活動記録などを掲載しております。購読をご希望の方は近畿支部事務局までお問い合わせください。

近畿支部が丸一となって準備した第10回日本音楽療法学会学術大会には、全国から学会史上最高数の会員が参加していただきました。大会テーマ「いのちに寄り添い、ところをつなぐ～音楽療法の原点と課題～」に基づき、さまざまな企画や新しい試みを行いました。音楽療法をあらためて深く考える機会を提供できたのではないかと考えています。また震災復興後の神戸の活力をも感じていただけたことでしょうか。

ご参加下さいました会員の皆さま、大会準備を支えて下さいました会員の皆様に深く感謝いたします。

## 中国支部 ——— 近 況 ———

支部長 武田千代美

中国支部は、去る5月22、23日の両日、くらしき作陽大学において、第10回中国支部大会、ならびに第16回支部講習会を開催いたしました。

今回、教育講演には、宮田広善先生をお迎えし、「障害のある子どもの育ちへの支援を考える～目標は『豊かな人生』～」と題してご講演いただきました。障害のある子どもに対する音楽療法の目標は「障害の改善（という甘い期待）」ではなく、子どもの心の安らぎや意欲の高まり、そして生活の質的向上であるべきとの先生のお話は、改善を期待しがちな現在の音楽療法を一步進める考え方であると感じ、見つめ直しのきっかけを頂きました。

また、今回は「心をつなぎ支えあう音楽とは～障害のある当事者から学ぶ～」をテーマに自主企画シンポジウムを開催し、シンポジストの演奏も交えて活発な意見が交わされました。

講習会では、山根寛先生に精神障害に関して、心身の基本的機能、治療・援助の基本原則、支援のあり方を2講にわたってご講演いただき、3講目は私が高齢者の音楽療法についてお話させていただきました。

開催に際しましてご協力を賜りました関係各位に深く御礼申し上げます。

第17回支部講習会は、11月14日（日）、広島文教女子大学にて開催します。皆様のご参加をお待ちいたしております。

ニュースレター21号は10月に発行予定です。支部ホームページもどうぞご覧ください。



## 四国支部 ——— 近 況 ———

支部長 板東 浩

四国支部学術大会を開催

四国支部大会は、2004年香川県開催を皮切りに、愛媛、高知、徳島、香川と逆時計回りで、年に1回行われている。2009年度は、四国支部が第9回日本音楽療法学会学術大会をお引き受けしたことにより、全国大会に参加いただくことにて支部大会は中止した。

第6回日本音楽療法学会四国支部学術大会が、2010年8月1日（日）に、高知新聞放送会館の高新文化ホールで開催された。今年は高知県の開催で、谷絵理子先生を中心とする大会実行委員会の方々のご尽力により、大会は円滑に終了することができた。

午前には、甲谷至先生による特別講演「歌うことが口腔ケアになる～誤嚥性肺炎の予防として行われる音楽療法について～」が行われた。その中で、歯科医として治療や予防医療を継続しながら、嚥下や構語現場（言語訓練？）での音楽療法セッションの詳細が紹介された。

午後には、ポスターセッションが行われ、発表者はポスターの横で自由な雰囲気ディスカッションを行い、会員同士が交流を深められる貴重な機会となった。引き続き、片岡祐介先生による特別講演「即興演奏ってどうやるの？」が行われ、準備された多くの打楽器を駆使したり、参加者と一緒に作曲したり、新しい試みが興味深く感じられた。

また、四国支部総会では準備された議題が承認され、第7回四国大会については、おおむね2011年秋以降に徳島県で開催される予定が参加者に通達された。



## 九州・沖縄支部 ——— 近 況 ———

事務局担当 西林 淑子

過日、会員の選挙により支部役員の変更が行われ、支部長：齊藤雅、研修担当：齋藤考由、倫理担当：熊本庄二郎、山下恵子、広報担当：池田憲治、監事：小林万寿子、和田玲子、事務局担当：西林淑子が、選出されました。

今年度、講習会は「集団精神療法」について特集し、認定者（上級者）対象も機会を増やしました。参加者からは「集団」への理解が深まり、自己の内省や自分のセッションを振り返る、貴重な体験になったと好評でした。今後も、目先の技術だけにとらわれない「基本的なセラピストマインド」についての講習会や、認定者対象のスキルアップをめざした内容の講習会等を企画していく予定です。

※発行日の関係で文中各支部近況の日にちが終了しているものがありますのでご了承下さい。

## 学会事務局からのお知らせ

### ■ 訃報

---

2010年10月1日、評議員 宇佐川浩先生がご病気のため逝去されました。ご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

### ■ 2010年度資格審査を申請された方へ

---

2010年10月15日までに提出された申請書につきまして現在審査中です。審査結果は11月末日までに通知されます。書類審査合格者は面接試験（実技を含む15分間、12月11日（土）・12月12日（日）のいずれか1日、日時は審査結果通知の際にお知らせします）が東京にて実施されます。なお、面接日時の変更はできませんのでご承知おきください。

最終審査結果は2011年2月初旬に通知されます。

### ■ 2010年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

---

2010年11月1日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2011年2月初旬に通知されます。

### ■ 「音楽療法士認定規則（新版）」の発行について

---

「新認定制度」の制定に伴い、2010年9月1日に「音楽療法士認定規則（新版）」が発行されました。購入を希望される方は500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（新版）請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

※「音楽療法士認定規則（新版）」の配布は会員限定です。

※音楽療法士（補）受験資格認定校を卒業または卒業見込みの方で既に音楽療法士（補）の資格を有する方または取得予定の方、および海外の音楽療法士の資格を有する方は、「新認定制度」に依らず従来の認定制度が継続して適用されます。これらの方を対象とした専用の認定規則書を現在作成中です。新版と同様に500円で頒布予定ですが、発行までしばらくお待ちください。（2011年3月末日発行予定）

### ■ 「資格更新規則（申請書）」の取り寄せについて

---

500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「更新規則請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

※資格更新の該当の方には当該年度の5月上旬までに、更新規則を全員に事務局から送付しますので取り寄せは不要ですが、早くご入用の方は上記方法でお取り寄せください。

### ■ 「カリキュラムガイドライン01」の取り寄せについて

---

「カリキュラムガイドライン01請求」として学会事務局へお申し込みください。

### ■ 「抄録の書き方」のご購入について

---

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。



## ■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」の取り寄せについて

---

2001年度から2009年度まで過去9回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が、年度別にそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分の音楽療法士（補）試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版も発行されています。合冊版は1冊で2,000円です。

購入を希望される方は、希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、返信用封筒は不要です。

## ■ 学会誌バックナンバーのご購入について

---

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

## ■ 会費（年会費）納入のお願い

---

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2009年度分未納の方はこのまま放置されますと2011年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口
振込先	郵便振替口座	○加入者名：日本音楽療法学会	
		○口座番号：00120-9-657711	

## ■ 第10回学術大会の国際シンポジウムへ出席された方へお願い

---

9月25日の国際シンポジウムを聴講されたときに、同時通訳のレシーバーを貸与いたしましたが、その内の数台が返却されておられません。お持ち帰りになっていましたら至急事務局まで返却をお願いいたします。

## ■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

---

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

## ■ 「団体総合補償保険」のご案内

---

一昨年から開始しました音楽療法士の業務保険を同封パンフレットのとおりにご案内いたします。ご希望の方はパンフレット記載の締切日まで必着で手続きを完了してください。この保険についての対応は学会事務局ではできませんので、ご質問などはパンフレット記載のお問い合わせ先に直接お願いいたします。

## ■ お詫びと訂正

---

学会ニュース19号（2010年4月30日発行）の23ページ、事務局からのお知らせの内「第9回認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について」記事において、合冊版の試験問題解説集の頒布価格に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤 合冊版は1冊で3,000円      正 合冊版は1冊で2,000円